

発酵×オーガニックビレッジ宣言



神崎町は、千葉県の北東部、利根川を挟んで茨城県と接する位置にあり、人口は、5,600人と千葉県で一番少なく、面積も19.90平方キロメートルとコンパクトな町です。

利根川沿いの平坦で肥沃な土壌を活かし、水稻や麦・大豆など古くから北総の穀倉地帯として農産物と良質な水に恵まれ、酒や醤油などの醸造業が発展しました。

江戸時代から続く2軒の酒蔵を中心とした「発酵の里こうざき 酒蔵まつり」をはじめ、全国でも唯一「発酵」をテーマとした道の駅など、『発酵によるまちづくり』に取り組んでおります。

みどりの食料システム戦略を契機に、本町では学校給食等への有機農産物の提供と、先人が築いてきた発酵食文化の融合、更にはスマート農業技術を活かし、先進的な有機栽培モデルを実践していきます。

「小さな町」ということが最大の武器である神崎町が一丸となり、未来を担う子どもたちのためここに「発酵×オーガニックビレッジ」を宣言します。



令和6年3月1日

神崎町長 椿 等